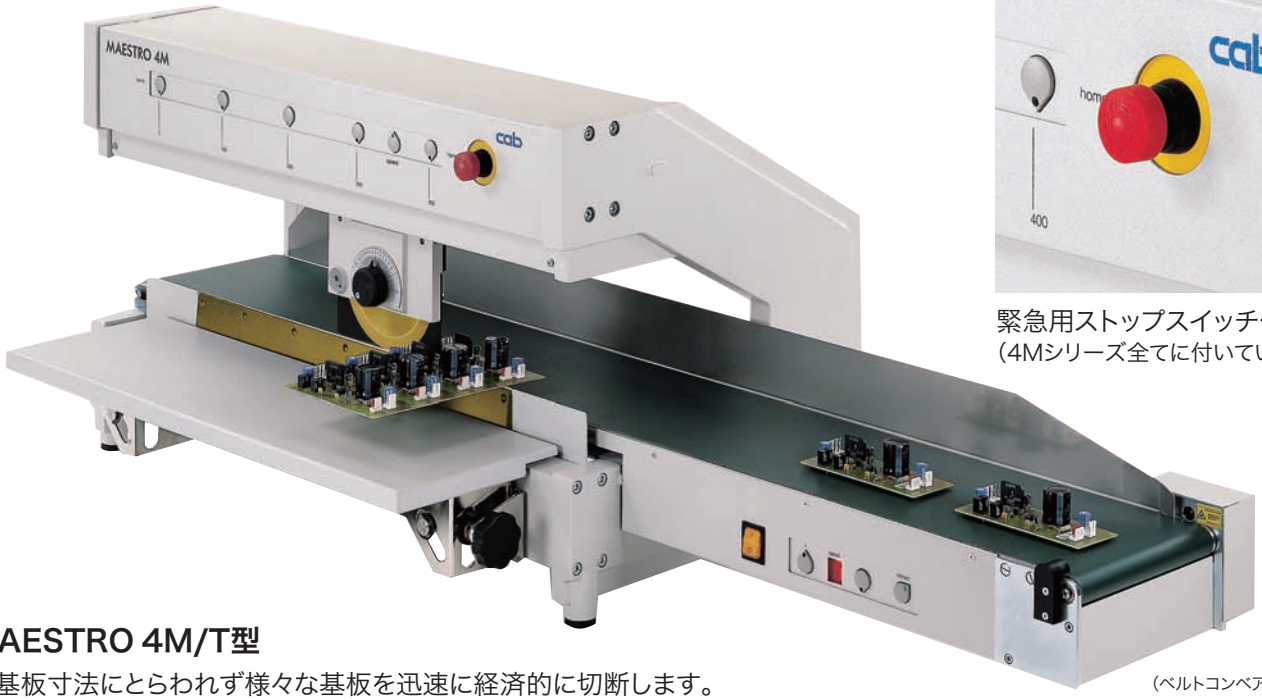
（寸法単位：mm）

基板切断機

cab

MAESTRO 4M/T（標準）・MAESTRO 4MP/70（特注）



緊急用ストップスイッチ付き
（4Mシリーズ全てに付いています）

（ベルトコンベアは別売）

MAESTRO 4M/T型

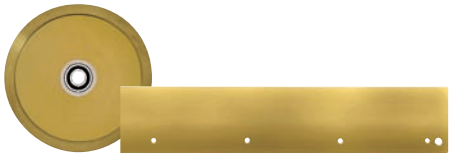
■基板寸法にとらわれず様々な基板を迅速に経済的に切断します。
■作業を容易にする為、切断長はコントロール・キーでプログラム出来ます。
■円形刃及び線形刃はチタンメッキの刃なので長期間の作業に適しています。
■Vカット溝がカットアウトで離れている場合でも連続切断は可能です。
■右図の様に部品がV溝上に有る場合は線形刃の部品があたる部分にカットアウトを設ける事が出来ます。（お問合せ下さい）

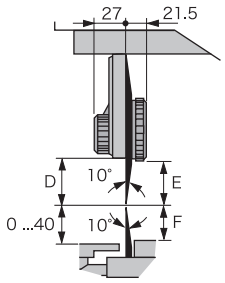
安全な切断

上下側刃の間隔はロータリノブで正確に目盛りに表示されます。メーカーの試験結果によると、上下の刃の間隔が広ければ広いほど切断作業中のストレスが少ないことがわかっています。出来る限り上下刃の間隔を広げて使用するするよう調整して下さい。（次頁下参照）
基板切断作業の際、常に線形刃の同じ部分に基板を置いて作業していると線形刃のその部分だけが磨耗してしまいます。作業の際はなるべく基板を設置する位置を変えてご使用される事をお勧めします。

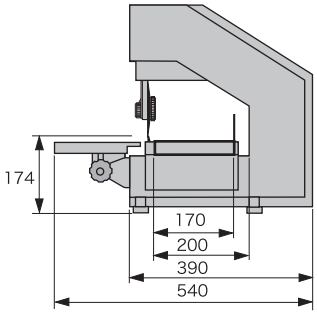
高寿命・高耐久性のチタンメッキ刃

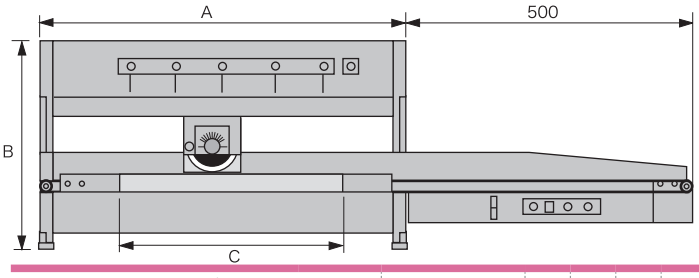
高耐久性のチタンメッキの刃が標準で付属します。高寿命なので大量生産工程等への使用に最適です。





	F
テーブル	9-39
ベルトコンベア	5-17





型 番		切断可能基板長	A	B	C	D	E
MAESTRO 4M/T	（標準品）	（450mmタイプ）	702	434	460	40	34
MAESTRO 4MP/70-370	（特注品）	（370mmタイプ）	702	492	460	70	64

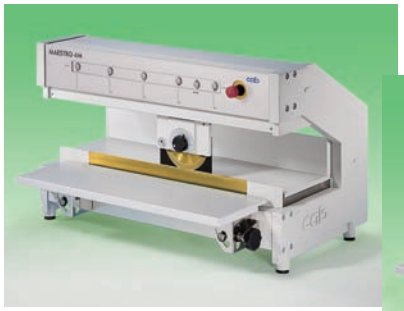
製品および技術の改良に伴い、カタログの内容は予告なしに変更されることがあります。

（寸法単位：mm）

基板切断機

cab

MAESTRO 4M/T型 （標準品）
MAESTRO 4MP/70-370 （特注品）



MAESTRO 4M/T型

MAESTRO 4MP/70-370

MAESTRO 4M/T型
■切断可能基板長：450mm（標準）
■Vカットに隣接する部品の高さ： 40mm（最大）
■プラットフォームの高さは必要に応じロータリーノブで調節が可能。後部の基板受け台の高さは三段階に調節出来、作業に最適な高さを選べます。
■線形刃と基板受け台間のスリットも調節出来ます。

MAESTRO 4MP/70-370
■切断可能基板長：370mmm
■Vカットに隣接する部品の高さ：70mm（最大）
■他の仕様：MAESTRO 4M/T型と同じです。

8931240型
ベルトコンベア（4M/T、4MP/70型用）

■C寸法：460mm（MAESTRO 4M/T用）
■ベルトコンベアの終端にセンサーがあり、基板が搬送されてくると停止します。またセンサーは解除することも出来、カットされた基板をそのまま別の作業工程へと送ることも出来ます。
■コンベアは切断機本体のフットスイッチと連動で作動し、連続して作業がなければベルトを1m送った時点で停止します。
■MAESTRO 4M/T及び4MP/70型両方にコンベアは取り付け可能です。

仕 様

切断方式：部品側：円形刃
　　半田側：線形刃

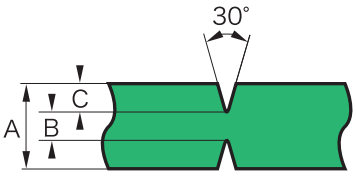
駆動：モーター駆動
切断速度：300/500mm/秒
電源：115V～　50/60Hz
アーススタッド：φ10mm
仕様温度範囲：15～25℃
保管温度範囲：-20～+50℃
湿度：10～85%

重量
MAESTRO 4M/T型：38kg
MAESTRO 4MP/70型：40kg

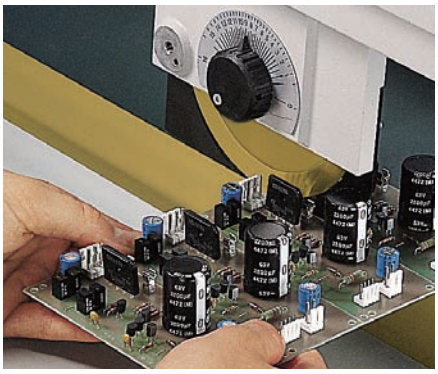
ベルトコンベア：導電性
搬送方向：右方向
搬送速度：5/6/7/8/9メートル/分

メーカー推奨基板規格

基板厚（A）：0.8～3.2mm
基板残厚（B）：標準：A寸法の1/3
　　最小：0.2mm
　　最大：0.8mm
Vカット深さ（C）：0.2mm（最小）
切断後のVカットの増加：0.1～0.2mm



機器の安全性及び保険基準はEC規格に準拠しています。準拠のEC証明書は機器に付随されます。



安全な切断
Vカットの溝が刃の縁に合う様に基板を線形刃に乗せ、フットスイッチを押すと、キャリア内の円形刃がV溝に添って移動し基板を切断します。
上部ガイドと線形刃の間隔は調整出来ますのでVカット溝に添った切断のみが可能となります。

＜刃の設定方法＞
基板にストレスの低い刃の位置を設定するには、上下刃の距離を最初に最大に上げてから徐々に刃の距離を狭めながら基板を試し切りをして下さい。基板が切断される位置まで来たらそれ以上刃の距離を狭めずにその設定で作業を行なって下さい。
また、基板のV溝の精度が悪く深さにバラつきがあったり、V溝の上下の位置がズレていたりすると切断に支障を来し、本機や実装部品に障害が出る事があります。

製品および技術の改良に伴い、カタログの内容は予告なしに変更されることがあります。